

◎ 2月定例会の常任委員会における審査の主な内容 ◎

総務委員会

平成24年度一般会計予算のうち総務委員会所管部分を可決

委員会では、歳出歳入等の詳細な内容などについて慎重に審査しました。その結果、住民基本台帳ネットワークシステムについては、個人情報漏えいが懸念されることや費用対効果の面からも認められないなどの反対意見が出されました。

一方、市税の確保に真剣に取り組んでほしい、地域コミュニティ推進事業については、地域住民の負担とならないよう十分考慮してほしい、合併地区における地域再生については、地域住民主体による地域活性化という視点で取り組んでほしい、避難所の機能をさらに整備拡充してほしい、予算の重点配分及び一時借入金金の圧縮も含めて、より効率的な財政運営を図ってほしい、消防行政において、引き続き人命と財産を守るという任務を着実に遂行してほしい、現在の入札制度が適切であるかどうか社会情勢を考慮しながら適時見直しをしてほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

教育厚生委員会

平成24年度一般会計予算のうち教育厚生委員会所管部分を可決

民生費において、障害者就労支援事業の周知方法、高齢者交通費助成事業へのスマートカード導入の検討状況、稼働年齢層にある保護受給者の就労意欲向上策、ケースワーカー及び就労支援員の配置状況と業務分担、教育費において、学校図書館司書の配置を財源である基金の廃止後も継続して実施する考えの有無、はじめまして絵本事業における絵本引き換え率の向上策及び学校給食業務委託の今後の導入方針などについて慎重に審査しました。

その結果、高齢者交通費助成事業へのスマートカード導入については、実際に向けて関係者と協議を進めてほしい、現在取り組んでいる巡回相談をさらに充実し、より早い発達障害児の発見につなげてほしい、学校図書館司書の配置については、今後も継続してほしい、新年度の予算執行に当たっては、特に扶助費の抑制を念頭においた事業運営に努めてほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。

環境経済委員会

平成24年度一般会計補正予算(第1号)のうち環境経済委員会所管部分を可決

農林水産業費において、本年2月の異常低温により大規模な被害を受けた露地ビワやイチゴなどの農産物被害に係る農業者支援策として平成18年に創設した台風13号農業経営緊急対策資金の償還猶予に伴う利子補給補助金が計上されております。

委員会におきましては、審査に先立ち、露地ビワの被害状況について確認するために、被害を受けたビワ園に赴き、農業者から直接露地ビワの育成状況や今後の見通し、要望する支援策などを伺うなどの現地調査を行いました。その後の審査においては、融資制度以外に新たな補助金制度を創設することで農業者の生活基盤の安定を図ることに對する見解、今回の被害に對応可能な農業共済制度への加入率が低かった原因、同共済制度への加入促進のための支援への考え方、今後の農業者のニーズに沿った具体的な支援策及びその実施時期についてたずねなど、内容検討の結果、異議なく原案を可決しました。

建設水道委員会

平成24年度一般会計予算のうち建設水道委員会所管部分を可決

土木費において、新大工から浜町・大浦に至るまちなか軸の活性化を中心とした「まちぶらプロジェクト」について、関係部局との連携のあり方、公共交通の利用促進や駐車場整備などに対する考え方などについて慎重に審査しました。

その結果、「まちぶらプロジェクト」ではハード面の整備に加え、関係部局と連携して観光都市としてのソフト面での充実に取り組んでほしい、銅座川の整備改修については、市民が理解しやすい形で構想を示し、占用家屋の撤去にも積極的に取り組んでほしい、老朽危険空き家対策については、道路改修等にあわせ実施するなど積極的に取り組んでほしい、市営住宅入居者の自治会加入率の向上に努めてほしい、建設局長の重点プロジェクトには数値目標を設定し取り組み、各部局の重点的施策とあわせ早急にかつ忠実に取り組んでほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。